

社会に開かれた学校

がっこうちよう かねこまさと
学校長 金子正人

校庭ではさつきが咲き始め、緑が日々濃くなっていきます。6組が育てているジャガイモも順調に大きくなっています。どれだけ立派なジャガイモが収穫できるか楽しみです。子どもたちはすっかり新しいクラスに慣れて元気に学校生活を楽しんでいます。登校班では班長さんが先頭に立ち、下級生を気遣いながら登校しています。保護者、地域の皆様に見守られながら1年生も安全に登下校しています。毎日の見守り本当にありがとうございます。

先日2年生が生活科の授業で横浜橋通商店街にお出かけし野菜の苗を買ってきました。「これは何の苗?」と尋ねると「ミニトマト」「ナス」「オクラ」「きゅうり」と嬉しそうに教えてくれました。3年生は社会科の授業でまち探検に出かける計画を立てています。その他の学年もあちこちに出かける案があるようです。

学校教育の内容を示す国の「学習指導要領」に「社会に開かれた教育課程」という文言があります。「学習指導要領」は社会の変化に合わせておよそ10年に一度改訂されるのですが、今回の改訂の基本理念が「社会に開かれた教育課程」です。そこにはポイントとして次の3点が明記されています。

- ① よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有します。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成します。
- ③ 地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現します。

簡単に言うと「学校は広く地域・社会と協働し、子どもたちによりよい社会を創り出す力を身に付けていきます。」ということです。この2年間、コロナ禍で地域の方々との交流が制限されていましたが、今年は様子を見ながらではありますが、できるだけまちに出て交流する機会を増やしていきたいと思えます。子どもたちが外に出ていく活動と同時に学校を開き教育活動を知っていただく機会も増やしていきます。手始めに育友会が保護者向けに「学校探検」を企画しています。普段は見られない特別教室や屋上なども探検するそうです。「校長室にも行きたいです」と本部役員さんに言われているので、せっせと校長室をきれいにしています。ぜひ学校に足を運んでみてください。同時に様々なイベントや活動でボランティアを募集します。読み聞かせや図書ボランティアのように定期的に関わっていただく活動もあります。授業参観とは違う子どもたちの様子を見ることが出来ますので、よろしければご参加ください。

保護者・地域との連携や協働を一層すすめるための組織として、今年から「学校運営協議会」を設置します。令和2年度に設置した「地域学校協働本部」と両輪で、教育活動の充実を図って参ります。学校は保護者・地域と連携し子どもたちのよりよい育ちを支えていきますので、ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。